

「大学体育スポーツ学研究」第20巻編集委員会

編集委員長 西田順一（近畿大学）
編集副委員長 難波秀行（日本大学） 園部 豊（帝京平成大学）
編集幹事 木内敦詞（筑波大学）
編集委員 梶田和宏*（京都先端科学大学） 小林雄志（東京大学） 佐藤 和（千葉工業大学）
高田大輔（新潟医療福祉大学） 田原亮二（西南学院大学） 中田征克（防衛大学校）
中山正剛（スポーツ庁） 西垣景太（東海大学） 平工志穂（東京女子大学）
藤野和樹*（千葉商科大学） 山本浩二（関西福祉大学）

【*編集幹事補佐】

論文を審査いただいた先生方（2022年投稿分） 心より御礼申し上げます。敬称略

天笠志保	安藤大輔	上原三十三	遠藤伸太郎	角川隆明	金谷麻里子	木原慎介
熊原秀晃	小林未季代	坂手誠治	佐伯聡史	高橋信二	高松祥平	田邊弘祐
奈良雅之	萩原朋子	宮口和義	持田和明	柳田信也		

編集後記

本教育研究誌は2004年に「大学体育学」として創刊され、2019年の現誌名への変更を経て、このたび第20巻の発刊となりました。貴重な論考を寄せられた著者および発刊に尽力された歴代編集委員の皆さまにこの場を借りて御礼を申し上げます。この節目のタイミングで本巻の編集に携われたことに大きな喜びを感じます。

本誌の創刊に際して、杉山元理事長は、「大学体育の固有の領域の充実発展のためには特色ある実践的な取り組みが不可欠で、そのための実践研究の蓄積がどうしても必要」と述べ、「独自性はあくまで、大学体育の実践に結びつく内容のものであり、大学体育の充実発展に貢献する点にある」と本誌の意義を言及しています。ここ数年、ウィズ（ポスト）コロナの大学体育の実践に私自身も頭を抱えつつ、その教育的意義や在り方を考え続けてきました。折に触れて、本誌の掲載論文を参照し手がかりにしました。本誌には大学体育スポーツの今後に迫るさまざまなアングルの論文が掲載され、ここから自身や組織等が抱える教育課題を解決する糸口を見出せる可能性があります。また今後の研究のバージョンアップのヒントを得れるやもしれません。

さて、2022年11月、J-STAGEに本誌全論文123本が（再）収録され、会員・非会員を問わずオンラインで閲覧可能になりました。先の杉山元理事長の論考や過去の論考をすぐに目にできます。今後のインパクトが期待されます。これを機に過去の実践を改めて学び、この先20年を見据え、引き続き「大学体育スポーツ学研究」の発展に向けた取組みを進めていきます。

（西田順一）

大学体育スポーツ学研究 第20巻

2023年3月発行

編集・発行 公益社団法人 全国大学体育連合

発行責任者 安西祐一郎

本 部 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目3番13号
第2天台ビル303号

TEL：(03) 3232-5738 FAX：(03) 3232-5872

<https://www.daitairen.or.jp>

印刷・製本 城島印刷株式会社

〒810-0012 福岡県福岡市中央区白金2-9-6

TEL：092-531-7102 FAX：092-524-4411

E-mail：eigyou@kijima-p.co.jp